

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	9	学校名	静岡県立伊豆中央高等学校	記載者	川村 陽一
------	---	-----	--------------	-----	-------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	自己肯定感の涵養	①生活リズムが安定している 90%※1 朝食摂取率 95%※1 自ら行動している 80%※1	A	A	朝食接摂取率がたいへん高く、学校生活を良好に過ごす基盤となっている
		②挨拶の励行 90%※1 規範意識のある生活 95%※1 いじめ・体罰0件 生徒による学校生活の見直し	A	A	挨拶ができることは素晴らしい。
		③連続欠席者への早期対応・支援の強化 相談できる教職員の存在 70%※1	B	A	信頼できる先生がいると感じている生徒が多いことは素晴らしい。
		④行事等実施後の満足度 80%※1 友人や周囲への思いやり度 90%※1 諸行事への自主的参加 90%※1	A	A	文化祭や体育祭、球技大会など行事にも積極的に取り組んでいる。
		⑤部活動との両立ができた生徒 80%※1 部活動ガイドラインの遵守 100%※3	A	A	良い。
イ	自ら学ぶ力の育成	①授業理解度（わかりやすい授業） 90%以上※1 教職員間での授業公開と授業見学の 実施 他校の取組の研究	B	B	授業をわかりやすいと答えた生徒は着実に増えている。
		②探究の時間の充実 70%※1	A	A	充実した探究活動を行っている と答えた生徒が多い。
		③基礎力テスト（スタディーサポート）の 活用 到達度テスト（リクルート）後の配信課 題への取組 80%以上 生徒自らスタディサプリの使用 70% 外部模試偏差値平均 52 以上	B	B	到達度テスト後の振返りを配信 課題等で行っている。外部模試の 成績については、今後の検討を要 する。

様式第5号

		④家庭学習時間 1日平均2時間以上 自主的な学習への取組 80%以上※1 放課後等自主学習の継続	B	B	取組時間が少ない生徒も存在する。自主的な学習を行うよう検討する。
ウ	こころざしの 育成と全生徒 の進路実現	①自己実現を考える機会年間10回以上(進路講演会、きらめきフォーラム、オンライン学部説明会、系統別説明会、希望進路講座、公務員講座、学校薬剤師と語る会等) TGG満足度 90%以上※	A	A	取組は大変すばらしい。
		②オープンキャンパスへの参加 80%以上※1 大学進学のための目的が明確になった 70%※1	B	A	大学進学のための目的が明確になる取組を行っている。
		③国公立大学への合格率 30%以上	B	B	実績は大変すばらしい。
エ	組織力の強化 と業務改善	①分掌・学年会の定期的実施 分掌業務・組織の見直しと適切化 各内規の見直しの実施 ICTを活用した業務改善の推進	A	A	減少しているなかで、先生方はよく努力されている。
		②健診受診率 100%※3 ストレスチェック受診率 100%※3 夏季休暇の完全取得者 100%※3 完全退校時間の遵守 職員の超過勤務時間前年度比 95%へ削減	B	B	退勤時刻や、管理日誌の様式などを変更したが、職員の完全退校時刻の順守について、さらに努力を要する。
		③不祥事0件 不祥事ミニ研修年10回以上 教育公務員としての自覚 100%※3	A	A	引続き、意識していく必要がある。
オ	学校・家庭・地域との連携協力	①ボランティア等地域活動に参加する生徒 50%以上※1	B	B	市や商工会などの活動に参加してくれている。
		②保護者が学校に来る機会の増加 保護者への進路情報の提供 保護者が学校のことを知るようになった 70%以上※2	B	B	引き続き行っていく。
		③交通事故件数前年度より減 非行・問題行動0件	A	A	良い。
		④学校説明会の実施年3回以上 オープンスクールの実施年2回 参加者の満足度 90% 中学生への直接的な広報の計画と実施 中学校訪問による情報収集と連携の充実	A	A	中学生に本校の生徒のすばらしさを伝えることは、大変良い。
		⑤学校運営協議会年3回以上実施 連携事業の検討	A	A	実施している。
		① 将来構想の具現化事業開発・実施	A	A	行きたい学校づくりやDXハイスクールへの取組を行っていく。

様式第5号

カ	魅力ある学校づくり	②ホームページ更新回数前年度より増 本校の記事新聞掲載数前年度より増	A	A	インスタグラムでの発信は、確認できている。
		③防災訓練年3回実施 緊急時対応の理解度100% ※1※2※3 地域防災訓練参加率の向上	A	A	実施している。
		④適切な会計処理の励行と不祥事根絶 環境整備、危険個所の把握、安全管理等の点検年3回以上 教育環境の改善度90%※1	B	B	県からの予算によるため、引き続き要望していく。
		⑤学校評価アンケート課題解決2項目以上	B	A	できることを改善していることは素晴らしい。
		⑥AI,データサイエンス、プログラミング等を活用して課題解決するプロセスを理解するようになった75%以上	B	B	今後も引き続き行っていく。